

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

アサヒグループホールディングス株式会社（証券コード:2502）

【新規】

発行登録債予備格付 A A -

【据置】

長期発行体格付 A A -
格付の見通し 安定的
債券格付 A A -
国内 C P 格付 J - 1 +

■格付事由

- (1) 国内外で酒類・飲料事業を展開するアサヒグループの持株会社。主力のビールは日本・東アジア、欧州、アジアパシフィックの3極で「アサヒスーパードライ」や「Peroni Nastro Azzurro」、「Great Northern」などの有力ブランドを擁し、グループ全体で良好なポートフォリオを構築している。25 年 12 月に英 Diageo 社からケニア等の東アフリカでビール、スピリッツ、RTD 事業を展開する East African Breweries PLC (EABL 社) の株式 65%を間接取得することを発表。取得価格は総額 30 億米ドルで、26 年下半期のクロージングを予定する。グループの一体性は強く、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 25 年 9 月に発生したシステム障害で 25/12 期業績は一時的な下押しを受けたものの、欧州、アジアパシフィックの貢献もあり、全社業績への影響は抑制された。システム障害後の日本における販売は概ね順調に回復しており、海外事業の業績はグローバルブランドやビール隣接カテゴリーの拡大を背景に、成長軌道を維持している。厳しい事業環境を受けて利益率は従前に比べ低下しているが、グループ横断的な調達機能の高度化も図られており、収益力は底上げされてきている。一方、EABL 社の買収で財務指標は一定程度悪化する見込みである。ただ、キャッシュフロー創出力や今後の同社の成長性などを踏まえれば、中期的に改善が進むと考えられる。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- (3) 26/12 期会社計画では、売上収益 3 兆 2,200 億円（前期比 11.2%増）、事業利益 2,910 億円（同 10.6%増）を予想する。日本・東アジアでは、販売回復に向けた広告販促費や情報セキュリティ強化の負担を織り込む一方、商品供給の正常化や価格改定効果、販売数量回復、ミックス改善により増収増益を見込む。欧州、アジアパシフィックも成長カテゴリーの強化と収益構造改革などで増収増益を予想する。また、一過性費用の解消などで、親会社の所有者に帰属する当期利益も 1,940 億円（同 59.6%増）と大幅増益を計画する。なお、中東情勢による影響として 150 億円のコストアップリスクが見込まれるが、これを打ち返す方向で各種施策が積み上げられている。
- (4) 25/12 期に豪州事業の買収（20 年 6 月）に際して発行した劣後債の期限前償還を行ったほか、株式の一部買戻しを行った。このため、25/12 期末のネット DER は 0.5 倍と 24/12 期末（0.37 倍）に対し悪化したが、概ね健全な水準が維持されている。EABL 社の買収が完了した場合、ネット有利子負債と EBITDA のバランスは当社が財務方針で設定するガイドライン（2.5～3 倍程度）を超える見込みだが、1～2 年で 3 倍程度に回復させる方針となっている。また、25/12 期末で親会社の所有者に帰属する持分は 3 兆円と十分なリスク耐久力が確保されている。当面、財務リスクは限定的に推移すると考えられる。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：アサヒグループホールディングス株式会社

【新規】

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	5,000 億円	2026 年 9 月 9 日から 2 年間	AA-

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 12 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	300 億円	2017 年 6 月 13 日	2027 年 6 月 11 日	0.330%	AA-
第 17 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	500 億円	2022 年 6 月 1 日	2027 年 6 月 1 日	0.290%	AA-
第 18 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2022 年 6 月 1 日	2032 年 6 月 1 日	0.469%	AA-
第 20 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	250 億円	2023 年 3 月 8 日	2028 年 3 月 8 日	0.544%	AA-
第 21 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	250 億円	2023 年 3 月 8 日	2030 年 3 月 8 日	0.870%	AA-
第 22 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200 億円	2023 年 9 月 7 日	2028 年 9 月 7 日	0.509%	AA-
第 23 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	300 億円	2023 年 9 月 7 日	2033 年 9 月 7 日	1.033%	AA-
第 24 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2024 年 10 月 24 日	2029 年 10 月 24 日	0.854%	AA-
第 25 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	300 億円	2024 年 10 月 17 日	2029 年 10 月 17 日	0.854%	AA-
第 26 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	200 億円	2024 年 10 月 17 日	2034 年 10 月 17 日	1.323%	AA-
第 27 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	400 億円	2025 年 5 月 2 日	2030 年 5 月 2 日	1.329%	AA-
第 28 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2025 年 5 月 2 日	2035 年 5 月 2 日	1.928%	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	5,000 億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年9月10日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「食品」（2026年4月1日）、「持株会社の格付方法」（2025年4月2日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） アサヒグループホールディングス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル